

第55回(2023年度) サントリー音楽賞

贈賞理由

近藤謙はちょうど半世紀前の「線の音楽」シリーズ以来、その創作、著作を通じて日本の聴衆、音楽家を深いレベルで啓発し続けてきた。近藤の作品は、声高に激情を叫ぶようなものとは異なり、いつも静かに、しかしつきりとした輪郭を示すもので、その影響は年月を超えて、今一層光を放つようになっている。

2023年度の「コンポージアム」(5月23～28日、東京オペラシティ)は、近藤の人と作品に焦点をあてたもので、ドキュメンタリー映画の上映とトーク、世界初演2曲を含む管弦楽の演奏会(そこには70年代の作品から最新作までが並んだ)、そして武満徹作曲賞の審査、さらには同時期に開催された作曲のマスタークラスや関連公演も含めてこの作曲家の現在を一望できる機会となった。

一つの音を置き、それを繰り返し聴くことによって次の音を見出し、さらにそれらの音を繰り返し聴くことによって第三の音を置く、といった近藤が繰り返し述べてきた作曲法は、かつて様々な作曲技法がもてはやされた時代には素朴すぎるように見えたし、その作品自体はかえって謎めいて聞こえたのだが、パンデミックや戦争によって人間(と人間集団)の孤立が深まり、さらにAIによる芸術の侵食が現実のものとなった今、近藤の音楽と言葉は、我々に深い覚醒が必要なことを告げているように思われる。

CD『近藤謙室内楽作品選集「昼と夜」』も含めて、前述のコンポージアムの諸成果を考えると、今年度はこの世界的に見ても稀有な、知的で誠実な活動を続けてきた作曲家を顕彰する絶好のチャンスである。ここにサントリー音楽賞を贈るものである。

(伊東信宏委員)

サントリー音楽賞

「サントリー音楽賞」(旧名・鳥井音楽賞)は1969年に創設され、毎年、わが国の洋楽の発展にもっとも顕著な業績のあった個人または団体に贈られます。第55回(2023年度)の選考は2024年1～2月に以下の選考委員7名により行われました。

伊東信宏・片山杜秀・白石美雪・長木誠司・沼野雄司・船木篤也・松平あかね(敬称略・50音順)

| | | | | | |
|------|--------|--|------|---------|------------------------|
| 第1回 | 1969年度 | 小林道夫(ピアノ・チェンバロ・指揮) | 第29回 | 1997年度 | 東京交響楽団 |
| 第2回 | 1970年度 | 堤 刚(チェロ) | 第30回 | 1998年度 | 林 光(作曲) |
| 第3回 | 1971年度 | 三谷礼二(オペラ演出) | 第31回 | 1999年度 | 三善 見(作曲) |
| 第4回 | 1972年度 | 小川 昂(理論・評論) | 第32回 | 2000年度 | 飯守泰次郎(指揮) |
| 第5回 | 1973年度 | ICUオルガン委員会(国際基督教大学) | 第33回 | 2001年度 | 一柳 慧(作曲) |
| 第6回 | 1974年度 | 秋山和慶(指揮) | 第34回 | 2002年度 | 小澤征爾(指揮) 木村かおり(ピアノ) |
| 第7回 | 1975年度 | 栗林義信(声楽) 山根銀二(評論) | 第35回 | 2003年度 | 野平一郎(作曲・ピアノ) |
| 第8回 | 1976年度 | 芥川也寸志と新交響楽団 | 第36回 | 2004年度 | 西村 朗(作曲) |
| 第9回 | 1977年度 | 常森寿子(声楽) | 第37回 | 2005年度 | 鈴木秀美(チェロ・指揮) |
| 第10回 | 1978年度 | 松村禎三(作曲) | 第38回 | 2006年度 | 東京混声合唱団 |
| 第11回 | 1979年度 | 吉原すみれ(打楽器) | 第39回 | 2007年度 | 細川俊夫(作曲) |
| 第12回 | 1980年度 | 妹尾河童(舞台美術) 特別賞 江戸英雄(第1回日本国際音楽コンクール会長) | 第40回 | 2008年度 | 小山由美(声楽) |
| 第13回 | 1981年度 | 柴田南雄(作曲) | 第41回 | 2009年度 | 大野和士(指揮) |
| 第14回 | 1982年度 | 外山雄三(指揮) 特別賞 原 清(ザ・シンフォニーホール建設グループ代表) | 第42回 | 2010年度 | 渡邊順生(チェンバロ) |
| 第15回 | 1983年度 | 鈴木敬介(オペラ演出) | 第43回 | 2011年度 | 受賞者なし |
| 第16回 | 1984年度 | 豊田喜代美(声楽) | 第44回 | 2012年度 | 藤村実穂子(声楽) |
| 第17回 | 1985年度 | 日本テレマン協会(室内管弦楽団・合唱團) | 第45回 | 2013年度 | 鈴木雅明とバッハ・コレギュム・ジャパン |
| 第18回 | 1986年度 | 内田光子(ピアノ) 若杉 弘(指揮) | 第46回 | 2014年度 | 広上淳一と京都市交響楽団 |
| 第19回 | 1987年度 | 岩城宏之(指揮) | 第47回 | 2015年度 | トップホール |
| 第20回 | 1988年度 | 林 康子(声楽) | 第48回 | 2016年度 | 小菅 優(ピアノ) |
| 第21回 | 1989年度 | 有田正広(古楽演奏) | 第49回 | 2017年度 | 読売日本交響楽団 |
| 第22回 | 1990年度 | 武満 徹(作曲) | 第50回 | 2018年度 | 高闌 健(指揮) |
| 第23回 | 1991年度 | 尾高忠明(指揮) | 第51回 | 2019年度 | 河村尚子(ピアノ) |
| 第24回 | 1992年度 | 練木繁夫(ピアノ) | 第52回 | 2020年度 | 三輪真弘(作曲) |
| 第25回 | 1993年度 | 五嶋みどり(ヴァイオリン) 特別賞 ウォルフガング・サヴァリッシュ(指揮) | 第53回 | 2021年度 | 濱田芳通(指揮・リコーダー・コルネット) |
| 第26回 | 1994年度 | 和波孝禧(ヴァイオリン) | 第54回 | 2022年度 | 井上道義(指揮) |
| 第27回 | 1995年度 | 今井信子(ヴィオラ) | 第55回 | 2023年度 | 近藤 謙(作曲) |
| 第28回 | 1996年度 | 園田高弘(ピアノ) 湯浅謙二(作曲) | 第56回 | 2024年度 | 山田和樹(指揮) |
| | | | 特別贈賞 | 1979年6月 | 巖本真理弦楽四重奏団(弦楽四重奏) |
| | | | | 1997年8月 | 黛 敏郎(作曲) |